

平成23年度第1回花巻市立図書館協議会 会議録

- 日 時 平成23年7月22日(金) 午前10時00分～午前11時25分
- 場 所 花巻市立花巻図書館会議室
- 出席者 (1)協議会委員
阿部 正、市川 浜、伊藤精二、金子千鶴、日下明久美、坂本知彌、清水 潮、
照井孝司、藤原くに子、門馬優子(計10人)
- (2)部長及び図書館長
菊池保守まちづくり部長 久保田泰輝花巻図書館長、金 善紀大迫図書館長、
高橋昭三石鳥谷図書館長、大石義徳東和図書館長
- (3)事務局
伊藤健一花巻図書館副館長、小原茂隆花巻図書館副主幹(業務担当)
- 欠席者 阿部洋美委員、晴山美紀子委員(計2名)

●次第及び協議内容等

- ・ 会議に先立ち、菊池まちづくり部長から照井孝司氏に委嘱状の交付
- ・ 菊池まちづくり部長からあいさつ
 - ・ 花巻市での被災支援の状況について状況報告。現在700人ほどが滞在している。200人ほどが花巻市に転入した。今後も支援していく。
- ・ 会議成立の報告(伊藤花巻図書館副館長)
 - ・ 出席委員10名、欠席委員2名で構成委員の過半数を超えているので、花巻市立図書館協議会規則第7条の規定により、本会議が成立することを報告。

1 開会(伊藤花巻図書館副館長)

2 会長あいさつ(坂本会長)

- ・ 震災では人的被害がなくよかった。比較的早く再開できたことは大変喜ばしい限り。図書館建設等については、市民の声をよく聞いていきたい。本日はよろしく願います。

3 議事(協議会規則により会長が議長となる。)

(1) 平成22年度花巻市立図書館の事業実施状況について

- ・ 会議資料に基づき、久保田花巻図書館長が、3月11日及び4月7日の震災による花巻市立図書館の被災状況、4館共通事項及び花巻図書館の事業実施状況について説明。その後、大迫、石鳥谷、東和の各館長がそれぞれ自館の事業実施状況について説明。

(質 疑)

- (門馬優子委員) 4館のブックスタート事業について、どのように実施されているのか。
- (小原茂隆花巻図書館副主幹) 18年の市町合併時から統一した形で実施している。2冊の絵本の配布、大型絵本で全体での読み聞かせ、個別の読み聞かせなどを実施している。
- (坂本会長) 花巻で実際に私が行っているのですが、花巻では保健センターを会場に、最初は全体的な読み聞かせなどをおこない、その後個別に赤ちゃんに話しかけたりしている。赤ちゃんの反応にこちらでも感動をもらうことが多い。また、歯ブラシや絵本を配布し、赤ちゃんに図書カードを配って、お母さんと一緒だと10冊も借りることができるなどと継続的な読み聞かせの働きかけもしている。
- (門馬優子委員) 4館とも同じようにやっているのか。
- (小原茂隆花巻図書館副主幹) そうです。
- (市川浜委員) 震災に伴う復旧費用はどのくらいか。また、図書ボランティアはどれぐらいいる

のか。

(菊池まちづくり部長) 現在災害査定が行われているところである。民間の被害状況がこれから出てくると思うが、かなり出てくるのではないかとと思われる。

(久保田花巻図書館長) 図書館の被害は3月11日の震災では花巻及び東和で150万円ほど、4月7日の余震では、東和で90万円ほどとなっている。また、ボランティア団体は22団体となっている。

(照井孝司委員) 資料P7の貸出者数の減の原因は。

(久保田花巻図書館長) 震災により3月11日以降4館休館となった。20日間ほど休館したが、1日の利用者は平均400人であり、約8千人ほどの減となった。

(照井孝司委員) 年代別ではどのような利用状況か。

(小原花巻図書館副主幹) 幼児及びその母の利用が多い傾向となっている。

(藤原くに子委員) 登録者数は増となっているが、貸出者数が減となっているがどうか。

(久保田花巻図書館長) 登録者は住民のほか、仕事で勤務している方や学生もいる。

(藤原くに子委員) 移動図書館車を学校でも利用してはどうか。

(阿部正委員) 移動図書館車が学校に来て、休み時間が20分ぐらいしかないので、人数などを考慮すると時間的に難しい。

(金大迫図書館長) 大迫では、大迫中に移動図書館車を運行していたが、利用者が少ないため今年度からやめた。

(坂本会長) 子ども達に活字離れになって欲しくない。

(阿部正委員) 学校では朝読書などをやっており、活字離れにならないようにしている。

(小原花巻図書館副主幹) 合併前に、花巻農業高校へ花巻と石鳥谷で交互に利用してもらうように、図書を置いていたが、利用が少ないことから止めたという経緯がある。

(清水潮委員) 結果は結果としてそれぞれ原因があると思う。結果を良い方向に持っていけばいい。私は現在老人ホームで絵画教室をやっているが、絵や絵本で元気になり、笑顔になる。読み聞かせも大事。普段話しできることが大事。

(坂本会長) 老人の方への読み聞かせも大事である。

(坂本会長) 資料P6のH22光をそそぐ交付金事業について内容を聞きたい。

(久保田花巻図書館長) H22の繰越事業で、全体3億7千万円のうち、2億円弱が図書館に予算措置されている。内容は資料のとおり。各学校にも図書資料の購入費が予算措置されている。

(2) 平成23年度花巻市立図書館運営方針並びに事業計画について

・会議資料に基づき、久保田花巻図書館長から、基本方針、重点目標及び花巻図書館の事業計画について説明。その後、大迫、石鳥谷、東和の各館長がそれぞれ自館の事業計画について説明。

(質 疑)

(伊藤精二委員) 図書資料の収集と活用の予算、選書や分野などのニーズの取り方は。

(久保田花巻図書館長) 予算の備品費1千100万円と雑誌・新聞購入費などを合わせ、1千300万円ほどとなっている。毎年同じぐらいである。

(小原花巻図書館副主幹) 購入図書は文学類が多く、最近は児童図書にもウエイトを置いている。リクエストは、1人何点かずつ受け付け、選書会議を開いて購入を決め図書サービスに努めている。

(日下明久美委員) 東和の読書マラソンについて、推進委員会を市全体に広げるのには無理があるが、子どもに本を読んでもらうのには成果があった。発展的解消と思うが、市全体にそれに変わるような事業を展開してもらえないか。

(久保田花巻図書館長) 何ら予算措置がなされていない中でどのようにやっていくのか。平成23年度方針としても、子ども読書活動推進計画の新たな計画を作成する予定で、そのなかで、

具体的な事業、子ども読書活動について議論させていただく。

(金子千鶴委員) ボランティア団体22団体あるが、私もボランティア活動をしている。予算によって各館の支援・研修などの回数がまちまちだ。意見交換する場が欲しい。予算はあるのか。

(久保田花巻図書館長) 市独自ではなかなかできかねるので、県教委を抱き込んだ研修を考えていく。市全体としてのネットワークを構築していきたい。

(小原花巻図書館副主幹) 中部教育事務所で各関係ボランティアネットワークを立ち上げ、ゆめ基金を活用し9月中旬に研修会を開催する予定である。

(市川浜委員) 交付金事業は単年度のものか。その経緯についてお聞きしたい。

(菊池まちづくり部長) 片山総務大臣の肝いりで、普段光があたらないところに光をあてるということから来ているもので、単年度限りの予算である。

(藤原くに子委員) 特徴ある貴重な資料の整備について、大迫の山岳博物館にあった貴重な資料などがあると思うが、新しくできた文化財センターの資料は閉架方式で利用しにくい。図書館などの枠を超えて、花巻市全体として、資料を把握しておくべきではないか。

(久保田花巻図書館長) 市全体としては把握していない。博物館とは情報を共有している部分がある。今後把握できるようにしていきたい。

(坂本会長) 賢治記念館、イーハープ館については把握されていると思う。

4 その他

(久保田花巻図書館長) 9月から被災地支援ということで、移動図書館車を大槌町で運行する予定である。現在は滝沢村が大槌・山田方面へ行っているが、8月で終了することから、9月以降の運行について県から話があったものである。12月まで毎月1回の運行を予定している。

(日下明久美委員) 映画会開催についての案内。8月21日(日)東和図書館視聴覚室で開催する。沿岸の被災状況等について実際の映像を見てもらい、沿岸被災地への支援について考える機会としたい。

5 閉 会 (伊藤花巻図書館副館長)

以 上